

専門職向け

# 認知症の人の理解とケア

～ものとり妄想・収集癖に焦点を当てて～

2016年度全国生協連グループ社会福祉事業等助成事業  
により作成

## ものとり妄想・収集癖の考え方

- 「もの盗られ**不安**」とは？ **財布** **衣類** **バック**

⇒認知症の人が、実際は違うのに、  
自分のものを盗まれたと思っている状態

- 「**収集癖**」とは？ **トイレトペーパー** **食器**

⇒必要な物の種類・量の認識ができず、他  
者のものや不必要な物を集めている状態

「不安感」が生じ、そのような状態に追い込まれている

## 認知機能障害

- 記憶障害  
少し前のことを思い出せなくなる、体験したことを忘れる
- 見当識障害  
時間や場所、人の見当がつけられなくなる
- 失語  
言葉が流ちょうに出てこなかったり、話を理解することが難しくなる
- 失認  
感覚機能に問題はないのに、物事を捉えることが難しくなる  
視空間失認
- 脱抑制  
不適切な行動でも、抑制が利かなくなる

何がどの程度できなくなっているか、何はできるか

## 認知機能障害により生活障害が生じる

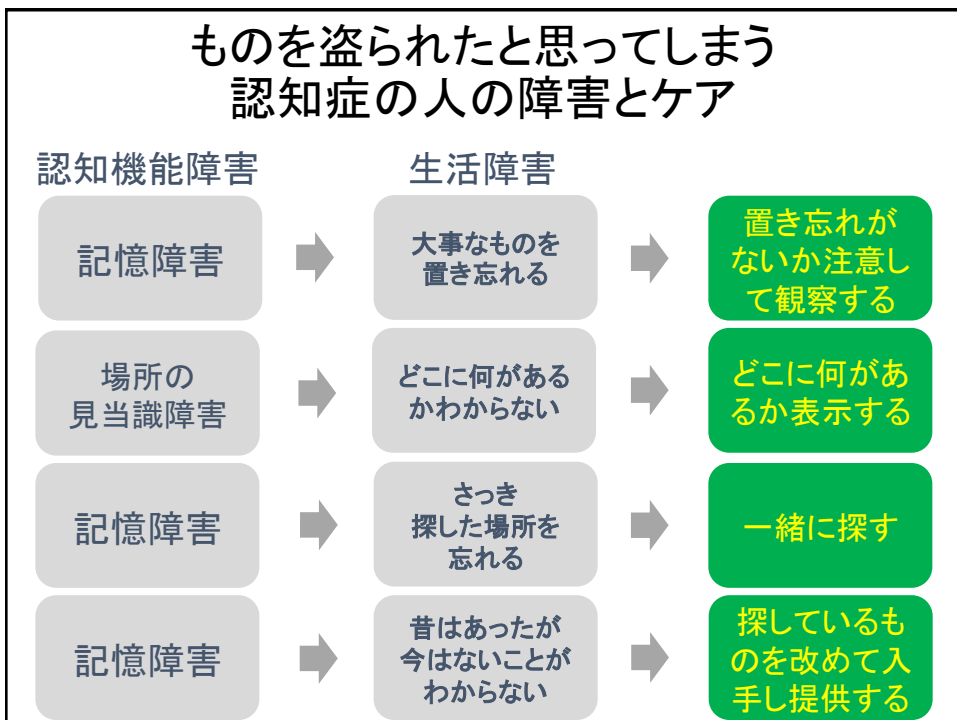
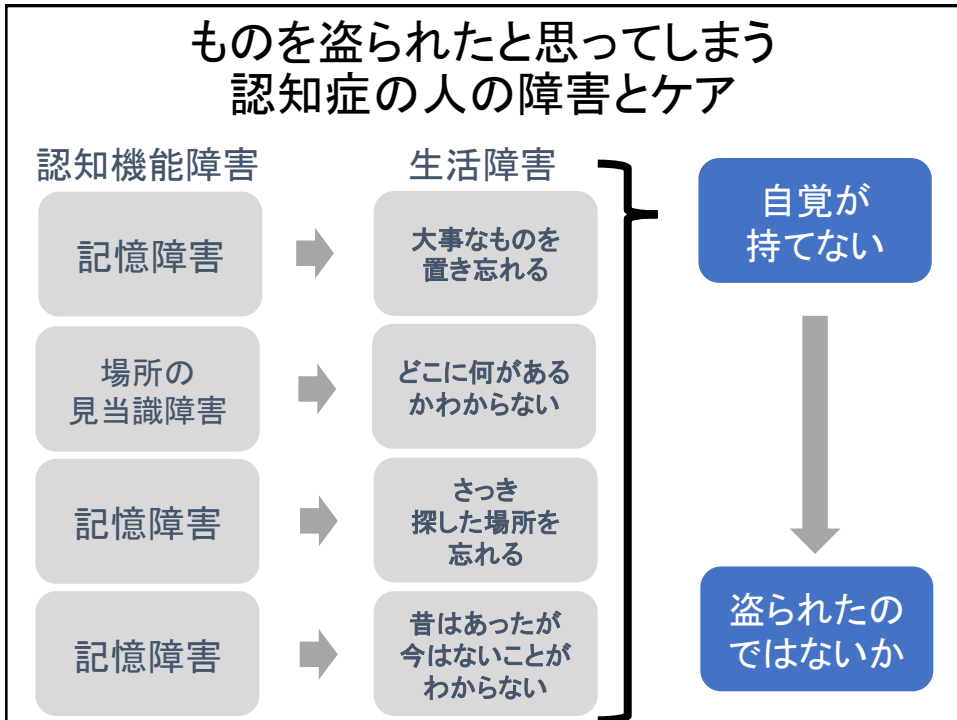
認知機能  
障害

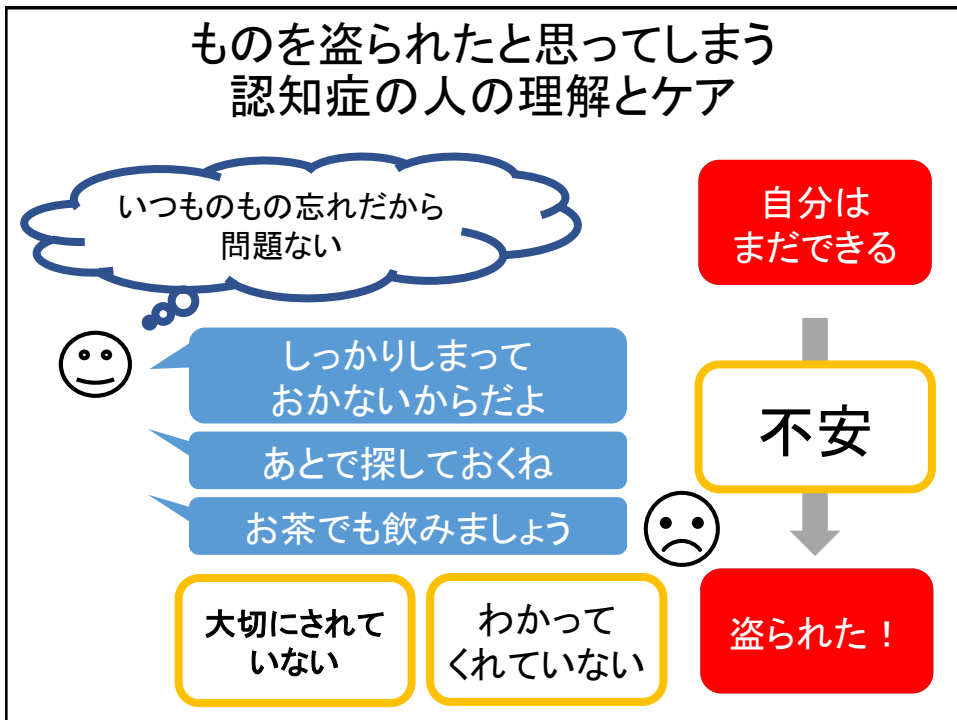
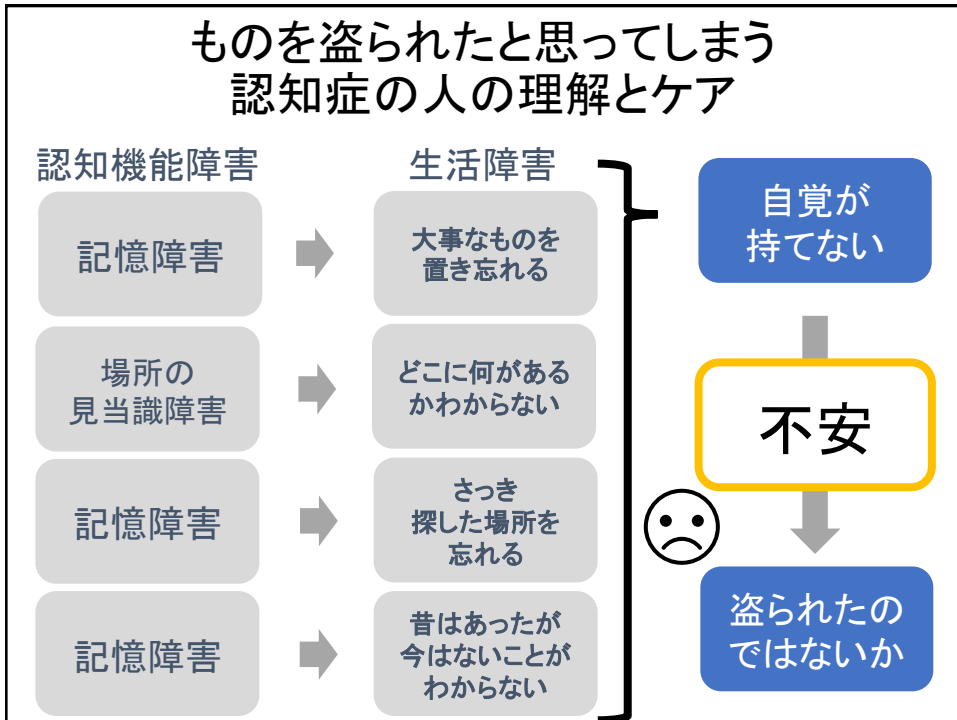
生活障害

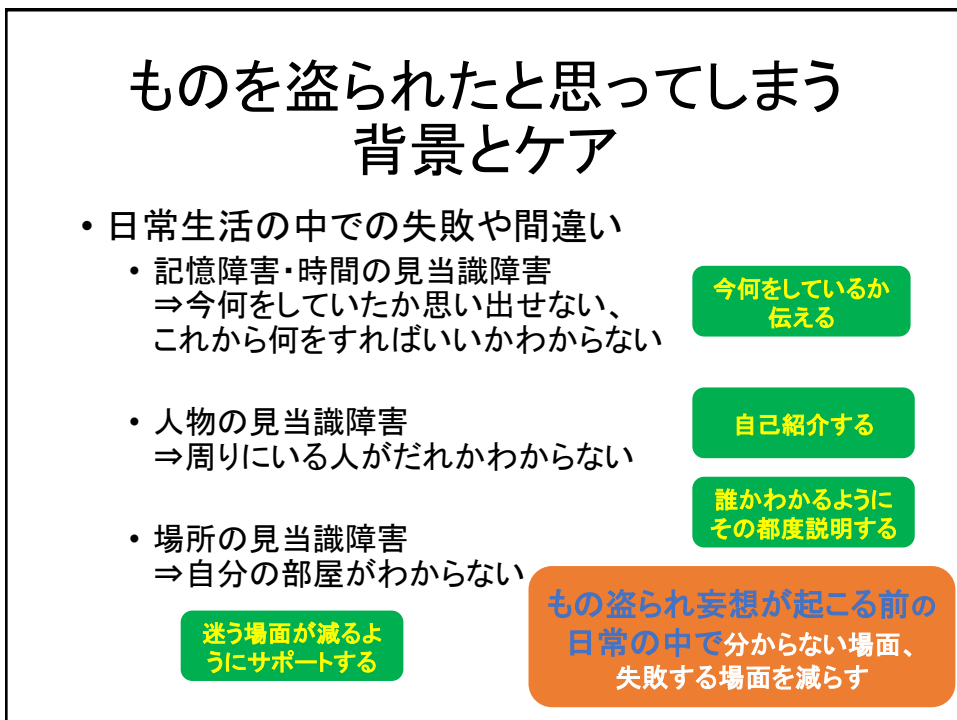
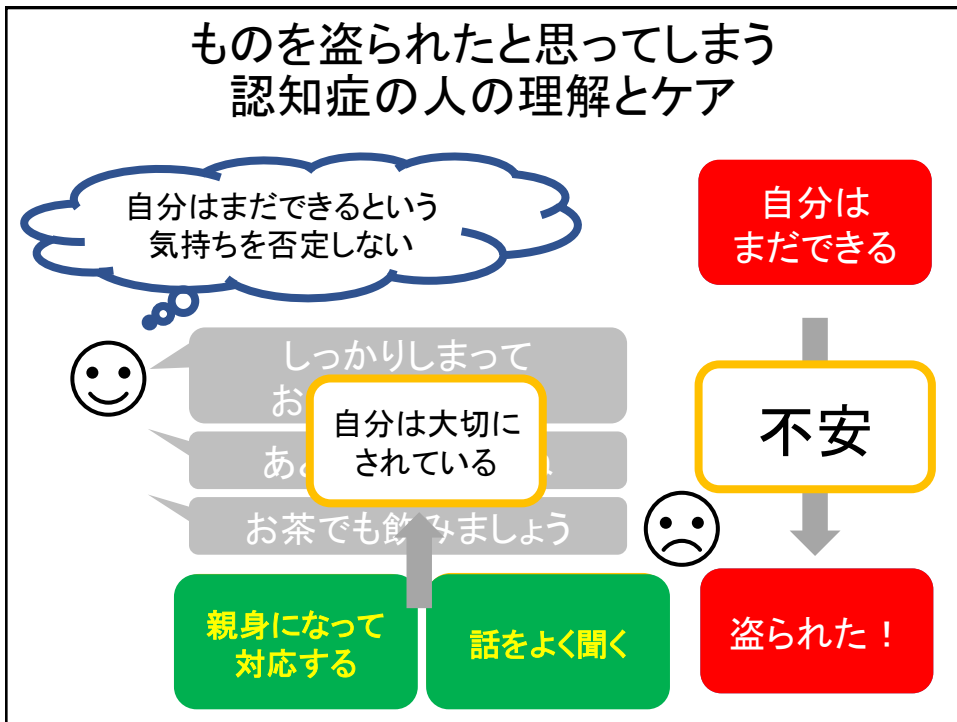
近時  
記憶障害



物を置いた  
場所を  
忘れる







## ものを盗られたらと思う 背景とケア

### ・意欲

- ・ 楽しく過ごしたい
- ・ 誰かの役に立ちたい
- ・ 誰かとつながってほしい

手持無沙汰

頼られない

不安

認知症の人の  
好みの活動をする

できることを  
してもらい  
感謝を伝える

声掛けを増やす

- ・ 体調不良(痛み・かゆみ・寝不足、便秘・その他の症状や疾患による不快感)

体調を整える

## ものとられ妄想のケア

### もの盗られ妄想が生じた際のケア

- ・ 否定しない
- ・ 親身に話を聞く

### もの盗られ妄想に追い込まないためのケア

- ・ 置き忘れがないか注意して観察する
- ・ どこに何があるかわかるように表示する
- ・ 日常的な生活障害による不安が軽減できるようにケアする
- ・ 好みの活動をしたり、声掛けを増やしたりする
- ・ できることをしたり、人の役に立つことをする
- ・ 体調を整え身体的不快を減らす

# 収集の理解とケア

## ものを集め続ける認知症の人の障害とケア

### 認知機能障害

場所の  
見当識  
障害



### 生活障害

どこに何が  
あるか  
わからない



整理整頓する

記憶障害



物を所持して  
いることを  
忘れる



気になるもの  
は見つけやす  
い場所に置く

記憶障害



どれが誰の  
ものか  
わからない



名前を  
表示する

脱抑制



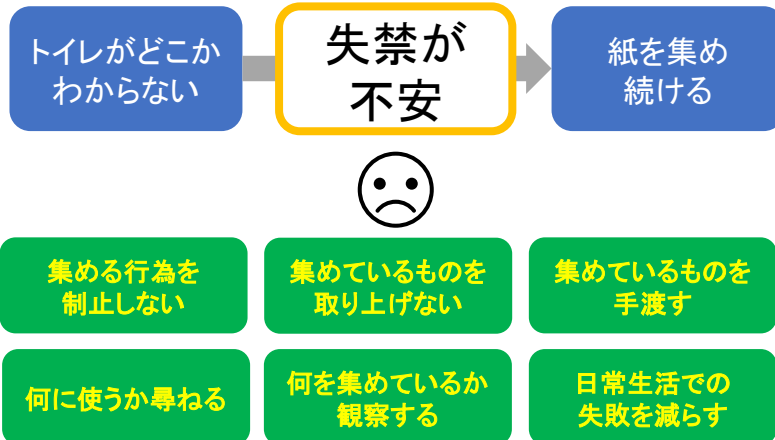
必要と思っ  
たものを集め  
ずに  
いられない



ほしいものを  
手渡しておく

## ものを集め続ける認知症の人の障害とケア

- 認知症の人の気持ちを察する



## ものを集め続けたいくなる背景とケア

- 周囲の状況がわからない

- 人物の見当識障害  
周りにいる人が誰かわからない

- 失語  
⇒ 言いたいことが言えない  
⇒ 相手の話がよくわからない

- 周囲の人の理解が得られにくい

興味関心を示し、大切にされていることが伝わるようなフォロー

ゆっくりと話す等、分かりやすく説明

よく話を聞いて理解に努める(聞いていることがわかるようにうなづく)

わからない、できないという気持ちをよく聞く

他の利用者との間に入ってフォローする



## 収集のケア

### 収集が生じた際のケア

- ・ 集める行動自体を制止しない
- ・ 集めた意図を考えて、必要なものを渡す
- ・ そっと元に戻す
- ・ トラブルにならないように間に入る

### 収集が生じる前のケア

- ・ ゆっくりと話す等わかりやすく説明する
- ・ よく話を聞く等、興味・関心を示し、大切にされていることが伝わるようなフォロー
- ・ どこに何があるかわかる工夫をする
- ・ 日常生活において、失敗しないような配慮をする

**チームメンバーでのケアの目的の共有**

## 参考文献

認知症介護研究・研修東京センター  
「2016年度全国生協連グループ社会福祉事業等助成  
事業ひもときシートを活用した効果的認知症ケア事  
例の収集分析事業—ものとり妄想・収集癖に焦  
点を当てて—報告書」(2017.12)